

開催日時	令和7年5月2日(金) 19時00分～20時30分
開催場所	WEB会議
出席者	木澤 中村 濱田 筒井
欠席者	勇村
記録者	筒井
議題	今後の広報活動について ①兵庫県理学療法士会からのお知らせ、HPTA メール、SNS 広報部の役割を明文化し、効果的な広報を検討 ②協会クラブオフの案内と使用方法の紹介 ③協会アプリの紹介の広報
決定事項	<p>○今後の広報活動について  一昨年より代議員・理事連絡協議会(11支部、副会長3名で担当)  ⇒県士会の進むべき方向、今後したほうが良いことなどの提案。意見を取り込み、業務のアップデートを図っている。</p> <p>①兵庫県理学療法士会からのお知らせ、HPTA メール、SNS 広報部の役割を明文化し、効果的な広報を検討  ⇒HPAT メールの発信が多すぎるという非難の声。  ⇒SNS は現在複数人がアップしている。動画の長さが適切でない、インサイトで約100人程度が投稿を確認している。興味をひきそうな内容はあるが投稿の仕方でも伸びしろあり。活用目的を明白に。内部広報、県士会員どちらもターゲットにできれば◎。中堅者の退会者を減らすことができる、休会者を復会させられるような案内が求められている。</p> <p>○SNS 戦略を部内で構成して発信する。  ⇒SNS をフォローするメリットを紹介する。現状、勉強会の案内や事後報告が中心。困っていることはないか、県士会の研修情報を必ずアップするなどするとフォロー数は増える可能性あり。各部で動いているため、情報連携できるかどうか。本業もあるため、広報材料を要求するのは難しい。HPTA メール等での情報を拾い、SNS に転用するのも○。  ⇒キャンバの生成 AI を活用できれば行えるか。研修会を開催する側の意図が反映されているかの確認が必要？年間100本以上を転用できるか、発信者の負担増加が懸念される。基本フォーマットを活用すれば可能？  ⇒SNS は類似すればするほどフォロワーのアルゴリズムを得られやすい。ハッシュタグの統一。アーカイブの内容と今後の開催予定。  ⇒投稿数が少ない、投稿がまばら(週に3回以上が理想の拡散能力)、プロフィール画面で見ると大きさもそれぞれでぱっと見での情報が入ってこない。自動発信機能週3回、リール動画、個人で週1回投稿等改善案の検討。  ⇒インスタグラム用の大きさを統一する  ⇒役割分担はデジタル業務支援部のみ。  ⇒勉強会の活動報告をした場合は写真を5枚し、プライバシーに配慮した上で、発信できるようにする。写真や感想(年代等)を変えたらいいだけのフォーマットにしておく。  ⇒写真の枚数等ルール化したほうがいいのか？枚数よりも質。参加した方の感想。</p> <p>○士会だよりについて  ⇒士会だよりに掲載事案は全てアップする必要はない。ページ数を統一化できるか、編集権限は広報部もちでよいと思う(採用するかどうかは別として)、広報素材をくれた分のみ。</p>

	<p>②協会クラブオフの案内と使用方法の紹介  ⇒入会のメリットとして活用できないか。ログイン方法、活用することでどのようなメリットがあるか。使用してどうだったか、ショートムービーを流す。  ⇒Instagram の通常使用は研修会案内と報告に特化して、ストーリーで協会メリットを随時流す。</p> <p>③協会アプリの紹介の広報  ⇒アプリを使うためのハードルをさげるための広報、使用方法等</p> <p>今年度の活動</p> <p>オフィシャルの広報と、任意の HPTA メール、SNS は研修会、広報誌(巻頭言、活動報告)、研修会報告と、インフォメーションをわけける。</p>
<p>依頼事項  検討事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 207 号の原稿依頼 巻頭言、数珠繋ぎ</li> <li>・ SNS 戦略やフォーマットについて要約し 6 月 20 日までに。6 月 29 日の拡大理事会があればそこでの広報も検討。方向性が決まれば、士会役員お知らせで SNS 戦略について発信する。</li> </ul>
<p>次回部会</p>	<p>日時: 月 日 21 時 00 分から(未定) 場所; WEB 会議</p>
<p>今後の予定</p>	